

各 位

会 社 名 株式会社シーティーエス
代表者名 代表取締役社長 横 島 泰 蔵
(J A S D A Q・コード 4 3 4 5)
問合せ先 管 理 部 長 佐 藤 真 一
(TEL. 0268-26-3700)

平成 22 年 3 月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月 5 日付当社「平成22年 3 月期第 2 四半期決算短信（非連結）」において発表いたしました平成22年 3 月期（平成21年 4 月 1 日から平成22年 3 月31日まで）の通期業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 通期業績予想の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株当たり 当期純利益
前 回 予 想 (A)	3,400	340	340	193	14,251 円 05 銭
今 回 修 正 (B)	3,400	370	370	210	15,508 円 49 銭
増減額 (B - A)	0	30	30	17	—
増 減 率	0.0%	8.8%	8.8%	8.8%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	3,217	330	331	181	13,311 円 50 銭

2. 修正の理由

当第 3 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日まで）における、当社の主要顧客層である土木・建設業界は、公共投資の一部に景気対策などによる工事発注がありましたが、顕著な効果は現れず、民間投資に関しても前年同期を大幅に下回るなど、引き続き厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況のなか、当社の業績につきましては、売上高が、注力事業であるシステム事業並びに測量機器事業において、積極的な営業活動が奏功し受注の拡大が図れたことにより、当初予想を上回る実績となりましたが、ハウス備品事業においては、建設現場事務所用ユニットハウスのレンタルに関して、シェア確保のための厳しい受注競争による単価の下落が大きく影響したことから、当初予想を下回る実績となったため、全体の売上高に関しては、当初予想通りの結果となりました。

利益面につきましては、システム事業及び測量機器事業における、売上高の伸長による売上総利益が増加したことなどにより、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想を上回る結果となりました。

この第 3 四半期累計期間までの業績に基づき、通期の業績予想を上記のとおり修正することにいたしました。

なお、当第 4 四半期会計期間（平成22年 1 月 1 日から平成22年 3 月31日まで）の業績につきましては、計画通りに推移するものと予想しております。

3. 配当予想の修正

(基準日)	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年11月5日発表)	2,500円00銭	2,800円00銭	5,300円00銭
今回修正予想	—	3,300円00銭	5,800円00銭
当期実績	2,500円00銭	—	—
前期(平成21年3月期)実績	2,000円00銭	3,000円00銭	5,000円00銭

4. 配当予想の修正理由

当社は、業績連動型の配当政策を採用しておりますので、上記1.の平成22年3月期通期業績予想の修正に基づき、1株当たり期末配当金を3,300円に修正いたします。これにより、既の実施いたしました中間配当金2,500円と合わせ、年間配当金は5,800円となります。

(注) 今回の業績予想については、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、上記予想と異なる可能性があります。

以 上